



平成18年11月2日

各位

会社名 株式会社ジェイ・エー・エー
代表者名 代表取締役会長兼CEO 長嶋重雄
(コード番号: 2394 東証第二部)
問合せ先 代表取締役副社長兼CFO 早原弘明
(TEL. 03-3878-1176)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成18年10月4日付で公表いたしました「平成19年3月期中間期末の投資有価証券評価損に関するお知らせ」及び最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年5月12日に公表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成19年3月期 連結業績予想の修正

(1) 中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,265	332	153
今回修正予想(B)	4,917	258	105
増減額(B-A)	△348	△74	△47
増減率	△6.6%	△22.3%	△31.1%
ご参考(平成18年3月期中間期末実績)	5,026	203	44

(注) 連結子会社の株式会社HAA神戸での営業譲受の際に発生したのれん償却(平成15年12月期から平成19年12月期までの5年間で総額8,571百万円を均等償却)が、857百万円、販売費及び一般管理費に計上されております。

(2) 通期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,747	934	462
今回修正予想(B)	10,000	624	279
増減額(B-A)	△747	△310	△182
増減率	△6.9%	△33.2%	△39.5%
ご参考(平成18年3月期末実績)	10,204	488	194

(注) 連結子会社の株式会社HAA神戸での営業譲受の際に発生したのれん償却(平成15年12月期から平成19年12月期までの5年間で総額8,571百万円を均等償却)が、1,714百万円、販売費及び一般管理費に計上されております。

2. 平成19年3月期 個別業績予想の修正

(1) 中間期 (平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,176	243	126
今回修正予想 (B)	2,110	268	67
増減額 (B - A)	△65	+25	△58
増減率	△3.0%	+10.2%	△46.4%
ご参考(平成18年3月期中間期末実績)	2,235	244	167

(2) 通期 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,528	618	327
今回修正予想 (B)	4,299	537	211
増減額 (B - A)	△229	△80	△116
増減率	△5.1%	△13.1%	△35.6%
ご参考(平成18年3月期末実績)	4,435	493	△66

3. 修正理由

(1) 中間期 (連結・個別)

長期に亘って高成長を維持してきた全国の中古車オークションの総出品台数が夏頃より前年割れとなるなど、市場が急速に低迷したことから、売上高については、連結・個別ともに前回公表予想を下回る見込みであります。

経常利益につきましては、連結については上記の市場の低迷により前回公表予想を下回る見込みであります。個別では第1四半期の好調により前回公表予想比プラスを確保する見込みであります。

また、当期純利益については、上記に加え、平成18年10月4日付の「平成19年3月期中間期末の投資有価証券評価損に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、平成19年3月期中間期末において投資有価証券評価損156百万円を計上することから、連結・個別ともに前回公表予想を下回る見込みであります。

(2) 通期 (連結・個別)

上記の中古車オークション市場の低迷傾向は、短期的に回復に転ずることは難しいと想定されるため、下期の取扱台数を見直した結果、通期の業績予想については、連結・個別とも前回公表予想を下回る見込みであります。

(注) 上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上